

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年1月25日

事業所名 モンキー'Sスクール

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員により、スペースを分ける工夫をされている。その日その日でグループ分けに少人数で活動を行っている。決められた平米数より広い
	2	職員の配置数は適切であるか	○			活動に応じた職員配置を適切に行っている。5.6名に対してスタッフ2名配置している 利用者さんの障害度合いに合わせて、活動班時の支援スタッフを配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切か	○			バリアフリー化についてもスロープなどの設備がある 階段には手すりがありトイレにも手すりがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			利用児様により、落ち着ける部屋がある。課題の時になどは個々で机があり集中できるよう工夫している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日支援後に1日の活動の様子、送迎での親御様の話した内容、ヒヤリハット視点などを作成し、次の日に振り返りを行っている 職員研修が定期的にある その日あったことを共有し、振り返りを行っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			意向調査を年一回行っている アンケート調査にご意見をいただいた内容をスタッフ一同で把握し、その後の対応について検討し、親御様に管理者からご連絡を入れる 送迎の際に親御様とのコミュニケーションをとり、改善につながるよう努めている 親御様の意見を把握し、スタッフ間で話し合い、業務改善に繋げている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等	○			ホームページに毎年記載済みです わかりません ホームページに記載しています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	なし
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月一回の職員研修がある。外部講師への依頼なども行い、より知識の充実化してもいいかなと思いました 支援内容の見直しや、支援の方法について研修を行い、また、職員の資質の向上に向けての研修等も行っている 定期的に職員研修を行っている 定期的な研修を行い、学んだことを日々につなげられるよう行っている。また、学んだ事は、期間をあけて再度復習することもしている
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成している	○			定期的に親御さんとお話をしお子様の課題となることを見つけ利用中の様子を踏まえ作成している

適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ペクスや絵カードを使用している 利用児さんの適応能力がわかるように独自のアセスメントシートを使用している
12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		★	支援内容が設定されており、利用児様によって支援の仕方は工夫している
13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		★	計画に沿って行われているが、環境や場所を変えたり楽しみながら取り組めるよう工夫している
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムの内容を話し合いの時間を設けてくれている スタッフで意見交換をし、また年間のスケジュールを設定している。また、普段の活動内容も同じものにならないよう工夫している
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			予定表を使い、活動が重複しないようにしている 様々な運動の種類があり、毎日活動に違いがある 日々変化があるように、独自のメニューを使用し、固定化されないように工夫している
16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇などの方が綿密にプログラムを組んでいる。最近担当指導者の存在が気薄になっているので意識しておこうと思います 話し合いをし、イベントなども入れている 長期休暇については、普段できないことを取り組めるようにまた、子ども達が楽しく過ごせるように行っている
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成している	○			それぞれの適応能力に応じてグループ分けを行い、その子に応じた支援ができるように、その子独自の支援表に沿った支援を行っている 両方の内容を組み込み作成を行っている
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼する時間やLINEの情報共有があります 朝礼などで話し合い気をつけないといけない点など共有している 必ず朝礼を行い1日の流れをスタッフで再確認しスムーズに業務に携われるよう実施している
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			朝礼に含み行っています 夕礼などで振り返りをしたり、共有簿で共有している 共有簿というツールがあり、各活動の内容を全スタッフが共有できるように記載し、全スタッフが確認を行い振り返れるようにしている。また、全ての内容を把握した上で管理者が気を付ける点などを記載し、共有を行っている
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			共有簿で気になった点について記入している 共有簿を使用し問題点について考え改善できるように日々行っている
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		○	モニタリングの際に自分達の意見も聞き入れて頂き、計画書を作って頂いています 半年ごとにモニタリングをし見直すようにしている
22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			なし
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			なし
24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携している	○		★	最近来所される利用児様がおられ、幼稚園に通われていて先生方や様子や支援内容について情報を共有している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

25	(放課後等デイサービスのみの) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行って	○			前もって利用児様の下校時間を聞いています 変更がある場合は親御様に連絡し確認している
26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を	○	○		てんかん発作などの対応なども見える所に掲載してくれています 現在、医療的ケアが必要な利用児さんはいない
27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と	○			なし
28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と	○		★	利用児様が通われている幼稚園に行かせて頂いたり、長期休暇では幼稚園の子ども達に来て頂き交流を計りながら、情報共有している。
29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理	○			なし
30	(放課後等デイサービスのみの) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に	○	○		就学前の様子をお聞きし状況や本人の様子を把握している
31	(放課後等デイサービスのみの) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○		現在、高校を卒業する利用児さんはいない
32	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと	○	○		ない
33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと	○		○	コロナの関係もあり、開示された場所の提供は難しい部分があります 保育園の子との交流があった

保護者への説明責任等	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	○	○	コロナの関係で参加する会がないため参加できる時は積極的に参加するようにしている
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を	○			送迎時に詳しく活動も伝えています 送迎時にはその日にあったことや運動・課題についても細かく伝えている
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支	○			年一回の保護者勉強会も行っています。 昨年は性教育をテーマに講演依頼をし親御様とともに勉強会を実施する事や学んだ事を普段から親御様に伝えるようにしている
	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行って	○			なし
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得てい	○		★	書類を作成し、親御様に内容について詳しく説明し同意を得ている
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行って	○			送迎時に話を行い、上司に相談が必要な場合は伝え対応頂いています。 家庭連携を積極的に行っている ご相談の際、話を聞いた上で提案や助言を行いました、スタッフが聞いた場合はすぐ管理者に報告する事や全スタッフで共有するようにしている。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援して	○	○		コロナの関係上、難しい部分がある。 親子参加などを取り入れていきたい コロナの関係でなかなか実施できていないが、今年度は実施したいと考えている。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			送迎のできごととは必ず報告している
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			なし
	43	個人情報取扱いに十分注意してい	○			個人情報になるものは持ち帰らないようにしている
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をし	○			特に言葉が出ない利用児さまに対しては、特に親御様への報告を行うことを周知徹底している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図って	○	○		コロナの関係上、難しい部分があります。 地域の方との交流をもてる場を行事に取り入れていけるよう行事を考えていく 今年度開催する予定をしている。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練	○			ホームページに記載している マニュアルを作っている。訓練なども定期的に行い、親御様に報告している 必ず実施した事を報告するようにしている。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行って	○			半年ごとに、防犯・防災訓練をしている。 訓練があった日利用できていないを親御さまにも、訓練の様子や改善点など、すべての親子様に報告している。 状況を想定し、定期的に行なっている

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		★	親御様に事前に確認をし対応についても見て分かるように掲示している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされる	○		★	現在、アレルギーのある利用児様はおられない
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			なし
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員研修をしている
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載	○			計画書に記載し、職員間でも情報共有している スタッフで話し合った結果決定し必ず親御さんに同意を得ている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 2023年1月25日

事業所名 モンキーSスクールⅡ

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備 適切な支援の提供	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1		配置数はよく知らない	スタッフ一同専門性向上のため、勉強会や研修会を行っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4		気にしていなかったので分からない じっくり見たことがない よく知らない	2021年に階段の手すりを設置しました。
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	16				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16				
	⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	5	7	4		地域の幼稚園との交流会を開催しましたがそれ以外の交流については状況下で難しかった為、今年は開催の検討を考えております。
保護者への説明等	⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてい	16				
	⑧	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				
	⑨	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	8	1	コロナ禍のためどちらとも言えない	4月に勉強会を兼ねて親御様との交流会をしました。今年も感染症の状況を見て開催させていただきます。
	⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	1		親御様から苦情があった場合すぐに管理者に報告し、対応しています。今後も続けさせていただきます。
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16				
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	1		毎月の予定表で定期的な行事予定を開票しているのでホームページをご覧ください。ご意見を下さった親御様には管理者からご連絡を入れさせていただきます。
	⑬	個人情報に十分注意しているか	16				
	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	1			マニュアルに沿って訓練を行い、その内容については報告させて頂いています。
非常時の対応	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1			定期的な訓練を行い、訓練実施後の報告もすべての親御様に行っております。
	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	12	4			利用見様が楽しんで通所出来るよう今後も努めて参ります。
満足度	⑰	事業所の支援に満足しているか	16				
	⑱						

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。